

4 郡山市地域ケア推進会議からの意見について

資料5

【郡山市地域ケア推進会議からの意見】

令和3年4月から令和5年3月までに郡山市地域包括支援センターで開催した地域ケア個別会議・地域ケア圏域会議であげられた地域課題や対応策について、郡山市地域ケア推進会議で意見交換を行いましたので、その結果を郡山市介護保険運営協議会に報告します。

■ 「地域課題、課題解決に向けた意見」一覧 ※意見等の詳細は別紙のとおり

地域課題		課題解決に向けた意見	
1	高齢者を支えあう地域力の低下	(1)	地域での見守り体制強化
		(2)	地域活動の促進・場の確保
		(3)	転入者等の自治会加入の促進
		(4)	空き家対策・移住者の受け入れ体制整備
		(5)	少子化対策、子ども支援事業の拡充
2	移動手段が確保できず、高齢者の活動性の低下	(1)	移動手段の確保
		(2)	移動に係る経済的負担の軽減
		(3)	移動販売導入・促進
		(4)	医療体制の確保
		(5)	ごみ集積場所と回収時間の検討
3	◆認知症の方の介護負担の増加 ◆認知症初期、若年性認知症の方が利用できるサービスの不足	(1)	認知症への理解を深めるための支援
		(2)	認知症相談窓口の拡充及び周知啓発
		(3)	状況に応じた多様な支援体制整備
4	高齢者世帯の抱える問題・課題の複雑化（8050問題、高齢者と障がい者の世帯、生活困窮等）	(1)	住民と関係機関との支援体制構築と連携強化
		(2)	障がい者への理解を深めるための支援
5	身寄りがない方や身近に支援者がいない方の増加	(1)	金銭管理等の支援体制づくり
		(2)	身寄りがない方の身元保証、緊急連絡先の確保

4 郡山市地域ケア推進会議からの意見について

【地域ケア会議等からみえてきた課題・意見】

以下は、令和3年度、4年度の地域ケア会議(個別・圏域)、地域ケア推進会議等からの意見をまとめたものです。

地域課題	課題解決に向けた意見
1 高齢者を支えあう地域力の低下 ・独居高齢者、高齢者のみ世帯の増加と、近隣同士のつながりの希薄化 ・コロナ禍により遠方に住む家族が自由に行き来できず支援できない。 ・コロナ禍における地域住民の意識の差があり地域活動に消極的となっている。 ・若い世代の担い手不足	(1) 地域での見守り体制強化 ・住民や高齢者あんしんセンター、金融機関、コンビニ、駐在所等関係機関のつながりの強化 ・ICTツールの活用 高齢者を支援する関係機関の情報共有としてICTツールを活用 ・高齢者あんしんセンターの周知啓発 高齢者に異変を感じた際につなぐ先が明確になればつなぎやすい。
	(2) 地域活動の促進・場の確保 ・地域活動を促進するための話し合いの継続 ・地域でサロン、通いの場を運営する場合の費用助成や広報のための支援 ・町内会や地域の集まりの場の確保
	(3) 転入者等の自治会加入の促進 ・転入者等への自治会への加入の必要性を紹介
	(4) 空き家対策・移住者の受け入れ体制整備 ・移住者を増やす取り組みや受け入れる支援体制づくり
	(5) 少子化対策、子ども支援事業の拡充 ・子どもが増えるような取り組みや支援体制づくり
2 移動手段が確保できず、高齢者の活動性が低下 ・運転免許証返納後、移動手段がない。 ・近所のスーパーや銀行、医院などの閉鎖 ・タクシー代が経済的負担となる。 ・社会性が保たれるよう移動支援が必要である。	(1) 移動手段の確保 ・オンデマンド交通活用促進(乗り合いタクシー) ・スーパーマーケットなど商業施設への送迎
	(2) 移動に係る経済的負担の軽減 ・タクシー券の支給回数の増加、年齢で区切るのではなく本人の状況に合わせた支給の検討をする。
	(3) 移動販売導入・促進 ・スーパーが閉鎖した地域への移動販売の調整 ・通いの場に合わせた移動販売するなど通いの場の活用
	(4) 医療体制の確保 ・通いの場を活用した遠隔診療の開設
	(5) ごみ集積場所と回収時間の検討 ・ごみ集積所を増やす、回収時間の拡大

地域課題	課題解決に向けた意見
3 ◆認知症の方の介護負担の増加 ・認知症の方の介護が負担に感じていても家族等が抱えてしまい、進行してからの相談が増えてきている。 ◆ 認知症初期、若年性認知症の方が利用できるサービスが不足。 ・認知症初期に利用できるサービスがない。 ・若年性認知症の方は高齢者の利用が多い介護保険サービスになじめないことが多い。	(1) 認知症への理解を深めるための支援 ・地域住民への認知症サポーター養成講座や勉強会を開催する。 ・中高生など子ども世代への認知症の理解を深める機会を設ける。(高齢者施設への見学や職場体験など)
	(2) 認知症相談窓口の拡充及び周知啓発 ・通いの場や地域のサロンなど気軽に相談できる認知症の相談窓口の設置 ・認知症本人や家族が相談しやすいよう支援をまとめた認知症ケアパス(つながる)の周知 ・医療機関と連携を図り、高齢者が多く受診する医療機関でのリーフレットの配布
	(3) 状況に応じた多様な支援体制整備 ・認知症初期の方や若年性認知症の方の状況に応じた支援体制の整備
4 高齢者世帯が抱える問題・課題の複雑化(8050問題、高齢者と障がい者の世帯、生活困窮等)	(1) 住民と関係機関との支援体制構築と連携強化 ・問題が大きくなる前に状況把握できるよう町内会や民生委員等の地域住民や包括等の関係機関が連携しながら見守りしていく。 ・地域住民への相談窓口の周知(障がい、生活困窮、引きこもり等)
	(2) 障がい者への理解を深めるための支援 ・障がい者の方への理解を深めるための情報共有や交流の機会を設けるなど支援体制の強化を図る。
5 身寄りがない方や身近に支援者がいない方の増加 ・独居高齢者、高齢者世帯の増加。 ・コロナ禍により遠方に住む家族の支援が困難 ・あんしんサポート、成年後見制度につながるまで時間がかかる。 ・身元保証人がいないと施設入所等サービスが利用しにくい。	(1) 金銭管理等の支援体制づくり ・身寄りがない方等があんしんサポートや成年後見制度を円滑に利用できるよう体制強化及び利用までの期間短縮
	(2) 身寄りがない方の身元保証、緊急連絡先の確保